

## しみ抜き達人に学ぶ



気付いたらついてしまっている“しみ”。ついてしまって気が滅入った事があるはず…。それぞれのシミのよって落とす方法八がいます。落とす方法を知っておけばかなり便利

### 食品のシミ

- **コーヒー、紅茶** ・ 中性洗剤を歯ブラシに含ませて叩きます。
- **ジュース、コーラ** ・ つけてすぐなら、ティッシュペーパーやタオルなどで手早く吸い取り、残った汚れは中性洗剤を歯ブラシに含ませて叩きます。  
・ 天然果汁は色素が残るので、あとにアルコールをつけて叩きます。  
・ 時間が経ったものは、ホウ酸水かコップ1杯の水にアンモニア小さじ1を溶かしたモノを布にしみこませ下にタオルを敷いて叩き、その後水洗いします。
- **カレー** ・ ベンジンで油分を落とし、色素はベンジンが蒸発した後、中性洗剤か酢を含んだ布で叩いて抜きます。酢には漂白作用があるので、色の濃い汚れには効果的です。黄色い色素が残った場合は漂白剤で漂白。完全にしみが取れることはありませんが、目立たなくなります。
- **チョコレート** ・ アルコールを含ませた布でつまみとるようにして油分をとり除き、その後中性洗剤を使って汚れを落とします。

### その他のシミ

- **ボールペン** ・ シンナーで落とすのが良いのですが、衣類によっては色落ちします。  
・ または、しみの付いた箇所の下にタオルなどを敷き、住まいの洗剤（マジックリンなど）を歯ブラシにつけて、叩いて下のタオルに吸い取らせたと後、洗剤をよく落とします。
- **クレヨン** ・ ティッシュペーパーで汚れを取り、歯ブラシにベンジンを含ませて叩き、乾いてから酵素入り洗剤液で叩き出した後、水で洗剤分をよく叩き出します。
- **血液** ・ 水（お湯はダメ）で濡らし石鹸でこするか、酸素入り洗剤をつけた歯ブラシで叩きます。  
・ オキシドールで取れます。時間が経ったものは、大根おろしをすり、ガーゼに包み根気よく叩くことで落とせます。（※大根に含まれているジアスターゼという酵素の働き）
- **汗じみ** ・ 汗をかいてすぐなら水洗いで大丈夫ですが、日が経つと黄変するので注意して下さい。  
・ コップ1杯のお湯に、アンモニア水大さじ1杯の割合で溶かした液でしみを叩き出します。  
・ または、洗面器1の水に対しレモン汁大さじ1杯ほど入れます。そこに汗じみのついた衣類を入れて一晩おき、あとは水洗いします。

### 化粧品のシミ

- **ファンデーション** ・ ティッシュペーパーで汚れを摘み取り、歯ブラシか綿棒にベンジンを付けて叩き出します。ベンジンが完全に乾いてから酵素入り洗剤液でさらに叩きます。こすらないで根気良く繰り返すのがコツ。
- **口紅** ・ ついてすぐなら洗剤をいれたぬるま湯で拭くだけで取れますが、少し時間が経ったものは、歯ブラシにベンジンまたはアルコールを含ませ叩き油分を取り除いた後、中性洗剤で叩き出します。
- **マニキュア** ・ 裏にあて布をし、マニキュアのついた服に除光液をかけ、ブラシなどで取り除いていきます。シンナー・灯油・ベンジンでも代用できますが、除光液が一番落ちます。但しマニキュアを溶かす薬品はアセテートを溶かすので、これらの衣類には使えません。